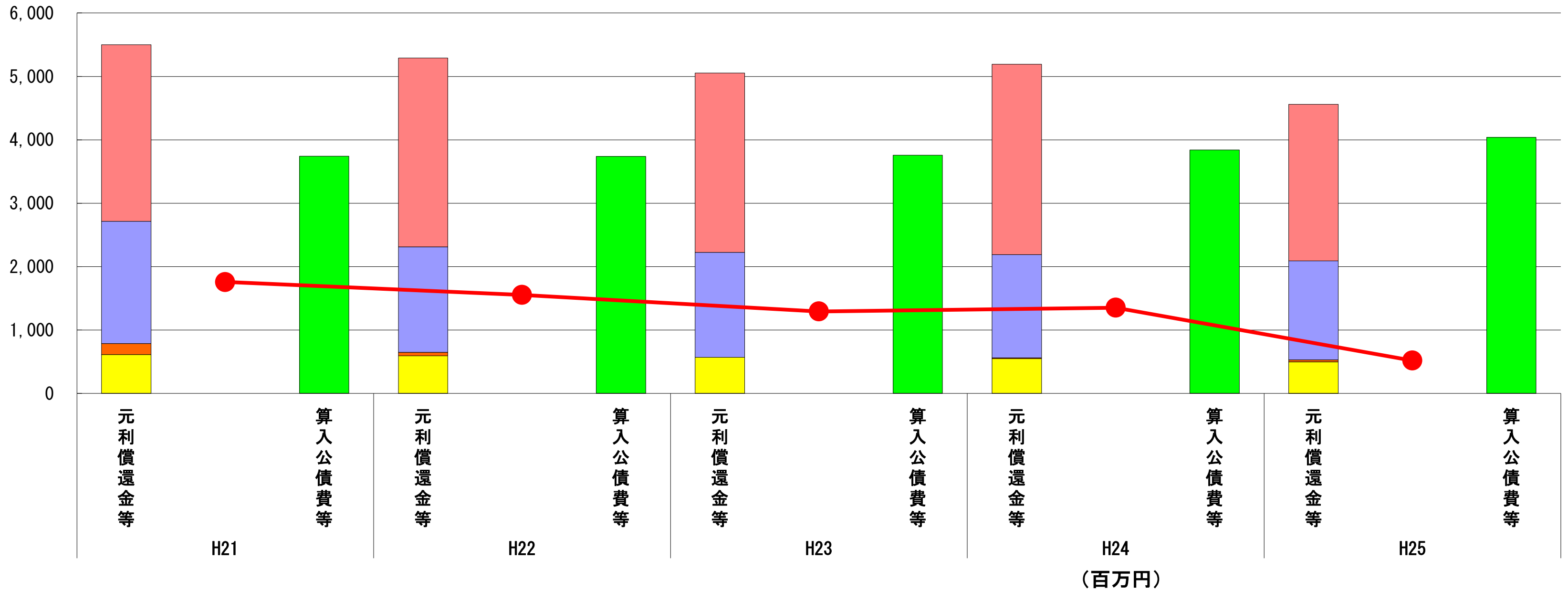


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

愛知県東海市

(百万円)



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,785	2,981	2,830	3,002	2,470
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,928	1,662	1,653	1,628	1,559
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		175	58	0	12	33
	債務負担行為に基づく支出額		612	591	570	550	497
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,743	3,738	3,759	3,841	4,040
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,757	1,554	1,294	1,351	519

**分析欄**

実質公債費比率の分子については、元利償還金が前年度比5.3億円減少したこと等により、元利償還金等(A)全体としては、6.3億円の減となった。

算入公債費等(B)の値も2億円増したため、実質公債費比率の分子は8.3億円の増となった。今後も、借入利率の低減を図り、元利償還金の圧縮に努める。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。